



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月4日

上場会社名 株式会社モスフードサービス

上場取引所 東

コード番号 8153 URL <http://www.mos.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役会長 兼 取締役社長 (氏名) 櫻田 厚

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営サポート本部長 (氏名) 福島 竜平 TEL 03-5487-7371

四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切り捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	15,785	2.0	157	△10.2	198	△28.3	△58	-
26年3月期第1四半期	15,471	6.4	175	△41.4	277	△22.1	179	△20.0

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △107百万円 (-%) 26年3月期第1四半期 258百万円 (39.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△1.89	-
26年3月期第1四半期	5.83	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	52,530	40,939	77.8
26年3月期	53,207	41,350	77.5

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 40,864百万円 26年3月期 41,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	10.00	-	12.00	22.00
27年3月期	-	-	-	-	-
27年3月期(予想)	-	11.00	-	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,700	3.0	1,250	6.9	1,300	1.6	550	△53.6	17.84
通期	67,000	2.6	2,400	11.2	2,550	7.2	1,250	△28.3	40.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	32,009,910株	26年3月期	32,009,910株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	1,181,706株	26年3月期	1,181,429株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	30,828,364株	26年3月期1Q	30,829,028株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内景気に緩やかな回復の兆しが見られるものの、消費税増税に伴う駆け込み需要とその反動があり、消費全般の基調は、いまだ楽観視できない状況で推移しました。

外食業界においては、消費税増税による影響はあまり見られなかったものの、原材料の高騰、人件費の高騰、建築費の高騰など、引き続き厳しい経営環境で推移しております。

こうした中、当社グループは、「人間貢献・社会貢献」の経営理念のもと、「食を通じて人を幸せにすること」という企業目標の達成に向け、国内モスバーガー事業の収益力強化、海外事業の推進、新業態の開発・推進などに積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期の連結経営成績につきましては、売上高は157億85百万円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益1億57百万円（同10.2%減）、経常利益1億98百万円（同28.3%減）となり、最終損益は固定資産売却益200百万円、固定資産除却損36百万円、減損損失24百万円、連結子会社である魔術食品工業股份有限公司の賃借倉庫の火災による火災損失2億36百万円等を計上した結果、四半期純損失は58百万円（前年同四半期は1億79百万円の純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<モスバーガー事業>

当社グループの基幹事業であるモスバーガー事業では、主として以下の施策を展開しました。

①新商品・期間限定商品の一斉投入

消費税増税開始日である4月1日に合わせ、ハンバーガー11種、サラダ1種、スイーツ5種の計17品を新商品および期間限定商品として一斉投入いたしました。

定番商品に付加価値を加えた商品、野菜に特化した商品など多様なニーズにお応えできる商品をご用意したことで、増税後も多くのお客さまのご支持をいただくことが出来ました。

②朝食市場の開拓

拡大する朝食市場に対応するため、この4月1日よりモスバーガー全店（施設内店舗など一部店舗除く）にて午前7時オープンを開始いたしました。利便性を高め、交流の場としても活用いただくことで、モスならではの朝食文化を作っていきたいと考えております。「朝＝モス」と認識いただけるよう、認知を高める施策を展開してまいります。

③ミスタードーナツとの共同販促（「MOSDO！」第三弾）の実施

資本業務提携を行っているダスキン社のミスタードーナツと共同販促を行いました。

“モスとミストのとりかえっこ”をテーマにお互いの代表商品やCMキャラクターを交換し、それぞれに商品開発を行いました。モスバーガーは、オリジナルのフレンチクルーラーを、ミスタードーナツは、オリジナルのライスバーガーを開発いたしました。「MOSDO！」第三弾となるこの企画は、話題性を喚起し、多くのメディアに取り上げられました。

今後もモスバーガーとミスタードーナツ合計約2,700店舗のスケールメリットを活かし、それぞれの得意分野や経営資源を有効活用することで企業価値の向上を図ります。

④農業生産法人・協力農家との連動

この4月、当社における3例目の農業生産法人として「モスファームすずなり（静岡県磐田市）」を設立いたしました。「モスファームすずなり」では、遠州灘に面した温暖な気候を活かし、とくに厳冬期に安定した品質のレタスの供給を図ります。

この事例に限らず、今後も農業との結びつきを強化してまいります。

国内モスバーガー事業の店舗数につきましては、堅実な成長に向け、当第1四半期連結累計期間においては出店4店舗に対し閉店は7店舗で、当第1四半期末の店舗数は1,416店舗（前連結会計年度末比3店舗減）となりました。

海外モスバーガー事業の店舗数につきましては、台湾235店舗（前連結会計年度末比増減なし）、シンガポール28店舗（同1店舗減）、香港13店舗（同増減なし）、タイ7店舗（同増減なし）、インドネシア2店舗（同増減なし）、中国（福建省・江蘇省・上海市・広東省）24店舗（同増減なし）、オーストラリア4店舗（同増減なし）、韓国9店舗（同2店舗増）となり、海外全体の当第1四半期末店舗数は322店舗（同1店舗増）となりました。

これらの施策により、モスバーガー事業の売上高は147億87百万円（前年同四半期比3.4%増）、営業利益は6億68百万円（前年同四半期比2.9%減）となりました。

<その他飲食事業>

各業態の当第1四半期末店舗数は、マザーリーフ業態合計で29店舗（前連結会計年度末比1店舗減）、「自由が丘 あえんおそうざい」事業2店舗（同増減なし）、株式会社ダスキンとのコラボレーションショップ「モスト」および「インザキッチン」事業合計2店舗（同増減なし）、「モスコ」事業1店舗（同増減なし）、「四季の旬菜料

理あえん」事業5店舗（同増減なし）、「シェフズブイ」および「グリーングリル」事業は合計で3店舗（同増減なし）となり、その他飲食店事業合計で、42店舗（同1店舗減）となりました。

以上の事業活動の結果、その他飲食事業の売上高は8億28百万円（前年同四半期比17.1%減）、営業損失は62百万円（前年同四半期比27百万円の損失減）となりました。

<その他の事業>

連結子会社の株式会社エム・エイチ・エスおよび株式会社モスクレジットは、おもにモスバーガー事業やその他飲食事業を、衛生、金融、保険、設備レンタル面で支援しております。

これらによるその他事業の売上高は1億69百万円（前年同四半期比0.2%増）、営業利益は31百万円（前年同四半期比83.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末の532億7百万円から6億円77百万円減少し、525億30百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末から13億2百万円減少し、固定資産は6億25百万円増加しております。流動資産が減少した主な理由は、夏季キャンペーンに係る在庫の積み増しにより商品が増加した一方で、季節変動により売掛金が減少したためおよび短期の資金運用の減少により有価証券が減少したためであります。固定資産が増加した主な理由は、公社債の購入により投資有価証券が増加したためであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ2億66百万円減少しております。この減少の主な理由は、短期借入金が増加した一方で、会計基準の改正に伴う会計方針の変更により退職給付に係る負債が減少したためであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ4億11百万円減少し、自己資本比率は前連結会計年度末77.5%から当第1四半期連結会計期間末は77.8%と0.3%増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月12日発表の通期連結業績予想と変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下、「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下、「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取り扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が107,179千円減少し、利益剰余金が69,130千円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

なお、セグメント情報に与える影響は軽微であるため、記載を省略しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,782,181	5,610,491
受取手形及び売掛金	4,048,502	3,553,634
有価証券	8,165,559	7,164,236
商品及び製品	2,859,833	3,380,206
原材料及び貯蔵品	323,977	203,410
繰延税金資産	278,053	270,182
その他	1,063,551	1,034,939
貸倒引当金	△23,989	△22,131
流動資産合計	22,497,669	21,194,969
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,304,195	10,419,195
減価償却累計額	△6,179,013	△6,243,301
建物及び構築物（純額）	4,125,182	4,175,893
機械装置及び運搬具	294,645	280,579
減価償却累計額	△153,481	△155,207
機械装置及び運搬具（純額）	141,164	125,371
工具、器具及び備品	7,780,013	7,981,110
減価償却累計額	△4,236,888	△4,414,633
工具、器具及び備品（純額）	3,543,124	3,566,476
土地	1,458,249	1,450,612
建設仮勘定	201,316	45,723
有形固定資産合計	9,469,037	9,364,076
無形固定資産		
その他	1,234,509	1,172,040
無形固定資産合計	1,234,509	1,172,040
投資その他の資産		
投資有価証券	11,117,125	12,059,794
長期貸付金	1,633,255	1,574,367
差入保証金	5,337,588	5,270,909
繰延税金資産	183,556	151,365
その他	1,867,256	1,878,500
貸倒引当金	△128,158	△129,392
投資損失引当金	△4,100	△6,400
投資その他の資産合計	20,006,523	20,799,144
固定資産合計	30,710,070	31,335,261
資産合計	53,207,740	52,530,230

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,401,034	4,404,693
短期借入金	448,240	836,962
未払法人税等	87,224	45,757
賞与引当金	424,508	229,489
ポイント引当金	9,640	14,593
資産除去債務	38,550	30,436
その他	3,735,455	3,452,323
流動負債合計	9,144,653	9,014,257
固定負債		
長期借入金	130,000	100,000
繰延税金負債	13,623	13,436
退職給付に係る負債	445,705	316,077
資産除去債務	221,885	216,357
その他	1,901,253	1,930,902
固定負債合計	2,712,468	2,576,774
負債合計	11,857,121	11,591,031
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,412,845	11,412,845
資本剰余金	11,100,543	11,100,543
利益剰余金	19,773,588	19,399,610
自己株式	△1,609,620	△1,610,174
株主資本合計	40,677,356	40,302,824
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	279,900	352,019
為替換算調整勘定	292,316	215,270
退職給付に係る調整累計額	△7,527	△5,645
その他の包括利益累計額合計	564,689	561,644
少数株主持分	108,572	74,729
純資産合計	41,350,618	40,939,199
負債純資産合計	53,207,740	52,530,230

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	15,471,643	15,785,721
売上原価	7,976,800	8,056,582
売上総利益	7,494,842	7,729,138
販売費及び一般管理費	7,319,110	7,571,330
営業利益	175,731	157,807
営業外収益		
受取利息	16,191	14,723
受取配当金	34,760	31,200
有価証券売却益	10,550	-
設備賃貸料	275,627	217,472
持分法による投資利益	6,676	-
雑収入	76,676	51,576
営業外収益合計	420,482	314,973
営業外費用		
支払利息	5,859	5,277
設備賃貸費用	295,183	238,601
持分法による投資損失	-	7,511
雑支出	17,859	22,430
営業外費用合計	318,902	273,821
経常利益	277,312	198,960
特別利益		
固定資産売却益	33,388	20,576
特別利益合計	33,388	20,576
特別損失		
固定資産売却損	1	-
固定資産除却損	13,731	36,831
減損損失	9,601	24,371
投資損失引当金繰入額	2,400	6,400
関係会社整理損	-	811
火災損失	-	236,265
特別損失合計	25,734	304,679
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	284,966	△85,142
法人税、住民税及び事業税	72,723	32,017
法人税等調整額	31,755	△29,101
法人税等合計	104,479	2,915
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	180,486	△88,058
少数株主利益又は少数株主損失(△)	605	△29,699
四半期純利益又は四半期純損失(△)	179,881	△58,358

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失（△）	180,486	△88,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69,072	71,508
為替換算調整勘定	78,146	△38,956
退職給付に係る調整額	-	1,881
持分法適用会社に対する持分相当額	69,436	△54,363
その他の包括利益合計	78,509	△19,929
四半期包括利益	258,996	△107,988
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	253,630	△74,145
少数株主に係る四半期包括利益	5,365	△33,842

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モスバーガ ー事業	その他飲食 事業	その他の事 業	計		
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	14,303,427	999,226	168,989	15,471,643	—	15,471,643
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	37,688	823	222,723	261,235	△261,235	—
計	14,341,116	1,000,049	391,712	15,732,879	△261,235	15,471,643
セグメント利益又は損失(△)	688,818	△90,371	17,059	615,507	△439,775	175,731

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△439,775千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△437,810千円を含んでおります。全社費用の主なものは、提出会社の経営企画・経理部門等の経営管理に係る部門の費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	モスバーガ ー事業	その他飲食 事業	その他の事 業	計		
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	14,787,854	828,583	169,282	15,785,721	—	15,785,721
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	38,344	913	272,298	311,555	△311,555	—
計	14,826,198	829,496	441,581	16,097,277	△311,555	15,785,721
セグメント利益又は損失(△)	668,714	△62,539	31,330	637,505	△479,697	157,807

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△479,697千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△476,838千円を含んでおります。全社費用の主なものは、提出会社の経営企画・経理部門等の経営管理に係る部門の費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。